

1. 件名：京都大学臨界実験装置（KUCA）の設計及び工事の計画の承認申請（燃料貯蔵棚の更新及びトリウム貯蔵庫の製作）に関する京都大学複合原子力科学研究所とのヒアリング（2）
2. 日時：令和6年1月16日（火） 10：00～11：40
3. 場所：原子力規制庁10階南会議室  
※本面談は、テレビ会議システムで実施
4. 出席者：  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
加藤上席安全審査官、伊藤主任安全審査官、小舞管理官補佐、  
加藤試験炉係長、三好技術参与  
検査グループ 専門検査部門  
宮本主任原子力専門検査官  
熊取原子力規制事務所  
大東事務所長、篠川副所長  
京都大学複合原子力科学研究所  
副所長 他5名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料  
資料1：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設〔京都大学臨界実験装置（KUCA）〕の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書（KUCA 燃料貯蔵棚の更新）  
資料2：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設〔京都大学臨界実験装置（KUCA）〕の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書（KUCA トリウム貯蔵庫の製作）  
資料3：ヒアリング説明資料

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	主力規制庁のカトウですそれでは本日のヒアリング始めさせていただきたいと思 います。
0:00:09	本日のヒアリングですか。
0:00:12	京都大学の方から出てきております、設工認申請につきまして前回の第1回ヒア リングを受けまして、資料の方を修正していただいて、修正をしていただいている と思いますので、そちらの方について、まずは、
0:00:27	京都大学からご説明をお願いしたいと思います。
0:00:32	説明くださいなんですけれど、前回からの変更箇所につきまして、
0:00:38	簡単に構いませんので、ご説明いただければと思います。
0:00:43	その内容の議論の方に、その中で理事監査したいと思っておりますのでよろしくお 願いいたします。
0:00:52	はい。京都大学の山元でございます。それでは資料1の方からご説明させていた だきます。あと前回からの変更箇所は赤字で示してございまして、
0:01:03	まず、3ページのところですね、単にいわゆるパースで単に不燃構造と書いてあり ました不燃材料を用いた不燃構造であることというふうに、
0:01:15	訂正させていただいております、4ページ下の行動に保安規定ということでござ いまして赤字のようですね、付け加えさせていただいております。
0:01:28	それから、6ページのところにですね落下防止版がわくようにですねずにですね落 下防止版というのを筒井臼井地域してございます。
0:01:38	それから、7ページの東光のですね、ここに玉特化ですね貯蔵庫の位置は具体的 にですね寸法とかでは示しておりませんが、
0:01:50	棚とトリウム燃料をですね、臨界計算の条件に合わせまして、1メートル以上とい うですね文字をですね追加してございます。
0:02:02	それで結果は、8ページのところにですね赤文字でですねどれ、どの図が何を表 しているのかというのがわかるように、追加してございます。8ページ、9ページの 方も同様でございます。
0:02:17	それから10ページの方に下の文字で方にですね赤文字で書いてございましてがで すね、該当なしの理由をですね追加させていただいております。
0:02:30	で、それからですね、14ページのところでございまして21条の対応のところのと ころでございましてがですね。
0:02:41	頭頂増玉低の安全設備ではないということに加えて、貯蔵ままオアですと、こ こバードゲージというのは笠井の伴水源ではないとね該当なしと。
0:02:53	いうふうに書いてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:55	それから、ですね、15 ページのところですね、技術基準との適合性というところでありまして赤文字のように追記してございましてええと、
0:03:09	26 条の第 2 号 1 っていうのはこれはですね腐食することがないということでございますが燃料は合金ですね。
0:03:20	低くされているということでは該当なしということと、あと大戸第 2 項第 2 号のところではこれは遮へい能力に関するものでありますが、そもそも燃料自体オテンセイ量で、
0:03:32	ありますので遮へいの必要はないないということでありますが、一時的に線量が高くなる場合もありますがその場合は、ですね保安規定に基づいた措置を講ずると。
0:03:43	いうことになってますんで遮へい能力は不要であるということで書いてございます。
0:03:49	で、あとですね、17 ページのところ、あと耐震のですね基準につきまして赤の文字のように修正してございます。
0:04:01	で、それから 19 ページの下のところも赤文字のところを追記してございます。それからですね、20 ページからの、
0:04:12	ところでございます臨界計算のところでございます、基本的なですね方針は前回と同じになってございます。ちょっと全体的な章立てとかをちょっと変えてございます。
0:04:27	そうですね。
0:04:31	特に前回と大きく変わりましたところは 25 ページのようにですね、モデルにつきましてですね図をですね、つけさせていただいております、
0:04:42	基本的にはですね前回と同じでございますがですね、燃料貯蔵玉の多くにですね、貯蔵だ日生しいて壁コンクリート配置。
0:04:54	しましたというところが、前回と異なってございます。これがですね、野辺市のものでございますこれは燃料貯蔵ナーの中央部にですね。
0:05:07	バードケージを配置したものと、そういう体系になってございます。それからモデル 2 の方はですね、これは燃料同士をですねと横方向にですね。
0:05:18	くっつけた方というものになってございます。図 2、2-2 のようなですね、第 1 にしているということでございます。
0:05:29	違うところ全部を燃料貯蔵等の後にですね、壁、コンクリートを置いてか、その壁の効果を見た、ということでございます。
0:05:40	ちなみに燃料貯蔵だとですね、下部をくっつけるのがですね臨界上厳しいのかどうかということにつきましてですね、これについてちょっと後程ちょっとご説明いたし

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ます。それで計算結果もですね 27 ページのところに書いてございましてコアコンクリートをつけたということで、
0:06:00	少し前回よりも大きめになっているというところでございます。それから 27 ページの下のところに書いてございますがですね。
0:06:11	コンクリートとですね彫像何をですね少し話した場合にはどうなるのかということでございましてそうするとですね実効増倍率が若干下がるということで、壁にですね、ちょうどくっつけた場合の方がですね一番条件が厳しくなっていると。
0:06:28	いうことでございます。
0:06:31	少し章立てを変えまして 28 ページ以降にですね、細かいデータにつきましては参考資料としてつけてございます。
0:06:40	それから、29 ページのところに前回の経常損報とか原子交通密度について追加してくださいというコメントをいただきましたので 29 ページ。
0:06:52	30 ページ、31 ページのところにですね、形状寸法と厳守講習密度を追記してございます。とそれから 32 ページのところにですね。
0:07:04	頭の下の方にですね、これ文章で書いておりましたものを、表で書きましてですね、燃料番枚数とかで 1 台当たりの使用の台枚数とか必要台数収納可能台数。
0:07:19	この表を追記してございます。
0:07:22	それから 33 ページ以降はですね、とですね、設置変更承認申請書と設工認申請書等が、第 1、
0:07:32	いうことございましてこれは設工認申請書につけたものをですね、そのままこちらの方につけさせていただいておりますが、1 本、
0:07:43	最後の 38 ページの一番下のところでございますが、これは品質管理に関するところにつきましてこれ、ここのところでは省略をさせていただいております。
0:07:56	ということで資料 1 につきましては以上でございます。この後資料 2 の方は、いかがいたしましょうか。そのまま続けて、続けてお願いできますでしょうか。はい。
0:08:10	それで資料 2 の方でございますが、
0:08:14	ですね、3 ページのところにございますが、6 ポツのようにですね先ほどと同じようにですね、この赤文字の部分ですね、
0:08:25	付け加えてございます。
0:08:28	それから、6、5 ページのところに少し間違っていたところがございましたのでそれへと赤文字のように訂正しております。それから、6 ページのところでございますがですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	洞道図が、どれがあるのかっていうのがわかるようにですね、赤文字を追記したというのとあともう一つあと鉛がどこに入っているのかっていうのがわかるように鉛という矛盾を付け加えております。
0:08:54	それから7ページのところでございます配置図の方であります。これは先ほど谷内合田などの事業にですね1メートル以上という文字を追記してございます。
0:09:05	それからですね12ページのところでございますがですね、12ページの下のところにですね21条のですね第1項第4号級のこれは先ほど彫像だと同じ。
0:09:21	いうようにですね、安全設備ではないというのと、火災の発生元ではないため該当なしというふうに気風に記載してございます。
0:09:31	それから26条のとう何もですね第1項第3号イですこれ13ページのところになりますがですね、これはですね法で放射線用のですね異常を検知した場合の警報に関する、
0:09:47	途上条文でございますが、これはですねですね、鳥海城野河内っていうそういう場所にはですね、ガンマ線エリアモニターが2台設置されているということで、測定レンジは1から10-40マイクロCPとパワーということで、
0:10:05	20mSv%を超えると、警報を発するというところでございまして、それから鳥居部長層厚の表面線量率はこれちょっと後から出て参りますが、
0:10:17	最大の3uSv%ぐらいであるというのと、あと各モニターは非常時では1mSvで、大前パーアワー程度であるということでありませうか。
0:10:28	取り合い設置しましてもですね、この警報設定点の20mSvをパワーを超える恐れがないということでありませうのでですね、燃料を取り扱い場所の高圧線量の異常を検知し以上。
0:10:43	傾向はすることができるということで回答ました。いうことでございます。同じくですね41条の警報装置のところでございますが、先ほどのようにですね。
0:10:57	等ですね塗料貯蔵庫を設置しましても、線量当量がイチジク上昇しまして、これらを実に検知して速やかにできる。
0:11:08	警報できるため、該当なしというふうにしてございます。
0:11:13	それから15ページのところでありますが、等ですね、耐震基準のところ少し文言を修正してございます。
0:11:24	ちょっと、
0:11:26	それから17ページの例えば先生方と同じように赤字のところを追記しております。
0:11:34	それから、
0:11:38	20、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	6条の第2項の2項の遮へい能力に関するものということでございましてですねこの赤文字のようにですね、中性してございますと、小松島海大津燃料ですね現在実は270基を貯蔵している。
0:11:56	雨森長蔵設備というのをですね、持っておりますですね、その時は実測値を用いてですね、
0:12:05	今回の申請でのですね刀禰燃料貯蔵庫表面での最大線量率というのは大体3マイクロシーベルトパーアワーぐらいであるというふうに見積もっておりますので、適切な遮へい能力を有していると。
0:12:19	いうことございましてそれをですね詳細計算結果についてですね以下に示してございましてということでありまして鳥居部長どうぞ。大賀です。現在のですね取りのちょうど設備がですね。
0:12:33	270基をですね想像しております、
0:12:36	次の20ページのところにですね、図がございまして、ここ、20ページの上の方の図でございまして、このようなですね、あと左っかわにと写真がございまして、
0:12:51	これが現在の貯蔵設備でございまして。そのですね上のほうの断面を切ったものですね、20ページの上の方の図でございましてですね。
0:13:01	これをですね下の方からですね、2.6得ること等とのガンマ線を発生させましてですね、左の写真にあります、AとBもですね場所のですね、線量をですね計算をすると。
0:13:15	それに対しまして今回新たにですね設置しようとしてうたうのでですね断面図が下の20ページの下の方の図でございまして、このAとBに相当する位置のですね。
0:13:27	線量をですねそれぞれ計算をする。
0:13:30	的屋探した結果といいますのがこの19ページの真ん中辺のところに書いてございましてですねそれぞれ比率を計算しますとですね。
0:13:41	大体40%ぐらいに下がると。
0:13:44	ということになるというわけでありまして、それから一方現在の貯蔵設備での実測値はですね、ですね大体A <sub>1</sub> におきましては、4マイクロ。
0:13:58	BTにおきましては8マイクロというこのありますので経産省の比率を掛けますとですね、現在の町動向におけます、AとAダッシュ点と、B'点ですね。
0:14:09	それぞれ2 $\mu$ Svとそれぞれ3mSvになるということでございまして、現在の貯蔵設備でいうと一番線量が高いところはB点。
0:14:20	でございますのでですね、今回の所、重畳設備の一番線量の高いところは、3名とシーベルトをパワーポ警部であるというふうですね見積もってございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:32	というのがこの 19 ページ、20 ページの説明でございます。ということで、あと 10、21 ページ以降は先ほど同じようにですね。
0:14:44	設置変更承認申請書、設工認申請書等の対比ということでございます。
0:14:50	資料 2 につきましては以上でございまして、あともう一つ補足説明資料という資料もう一つつけてございます。
0:15:01	これはですねまず布石説明資料の 1 ページの方でございまして、適切な醸造だわと新しい貯蔵だなと思うんですね。
0:15:11	寸法とか台数の比較でございます。これを一覧表にまとめたのがこちらでございます。
0:15:19	それから前回とですねワード經理のですね、固定、内部ボックスのバードケージへの固定方法について等を教えてくださいというコメントがございましたので、ちょっと写真をつけてございますこのような形で固定されているということで、
0:15:37	2 ページと 3 ページそれぞれでございまして。あともう一つ李水源につきましてですが、それが 4 ページと 5 ページの、
0:15:48	ところにございまして猫等ですね
0:15:53	ちょうどありますフェアですね、につきましてはですね水源となるようなものはないというのを、あと、5 ページの方にもですね、内部に配管がございまして、
0:16:07	2 回目届くような配管はないということでこれは燃料製造のときの設工認、申請にの時に使いました資料と同じようなものをつけてございます。
0:16:20	一番最後の 6 ページのところはですね、部屋の中におきますガンマ線エリアモニターの設置位置を示してございます。説明を、
0:16:31	以上でございます。
0:16:34	規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございます。それでは規制庁川から、
0:16:41	確認させていただきたいと思います。
0:16:46	まず初めに、
0:16:47	資料の 2 の方、鳥海高校の方の、
0:16:51	19 ページについて少しお尋ねしたいことがございます。
0:16:58	先ほどのご説明の中で、トリウム約 270 キロ現在貯蔵しているというお話でしたけれども、
0:17:07	これ許可の際には、トリウム 441kgとして、
0:17:12	属しているかと思うのですけれども、
0:17:15	この 441kg。
0:17:19	というの、
0:17:20	207、実際にあるのは 270kgということで、441 キロという数字でどういうふうに出している数字があるか教えていただけますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:32	はい。共同ヤマモトでございます。全部で 441 でございますが、実は増資程度場所 2ヶ所ございまして 1ヶ所が 270 ということで、
0:17:45	衛藤層も、その残りがもう 1ヶ所ということで両方足すと 441 になるということでございます。
0:17:57	規制庁の加藤です。
0:17:59	今のご説明ですと、
0:18:02	既存の場所が 2ヶ所ありまして、一つが 270kgで、もう片方がその残りとなりますので、
0:18:14	これが 271kgです。そういう理解でよろしいでしょうか。
0:18:20	すいません。年ご質問もう一度をお願いいたします。
0:18:25	先ほどのご説明ですと、まず許可の際の 441kgというのはトリウムの全量となっていて、
0:18:35	なおかつ貯蔵場所が二つあるということで 1ヶ所に 270kgあって、もう片方に残りの 171kgか。
0:18:46	今現在貯蔵されている理解で合っておりますでしょうか。共同ヤマモトでございます。その通りでございます。
0:18:57	規制庁カトウです。そうしますと、
0:19:02	まず、
0:19:04	今回のその設工認の申請で評価上は 270kgとしていますけれど、
0:19:13	これは最大値、
0:19:16	ということで、そのあとに、実際には 270kgトリウム燃料を貯蔵する。
0:19:24	ということを考えているということを書かれているんですけど。
0:19:28	これも 270、はい。
0:19:31	0しました 230 キロというのは、1ヶ所に 230 キロ。
0:19:36	もう片方に残りですので、111 キロ。
0:19:41	構築をするという意味でしょうか。
0:19:45	兵頭米事でございます。全部で 441 キロでございますが、二つ同じものを今回製造する予定でございますのでそれぞれ大体半々ぐらいつつ、
0:19:59	ということでありまして大体 1 体当たりの最大は、大体 230kgぐらいであるということで 230 キロというふうに書かせてしております。
0:20:13	以上でございます。
0:20:17	加藤です。ありがとうございます。今のお話ですと、新しく新設しますトリウマチ方向については、最大容量でおおよそ 130kg入るということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:32	その最大値を記載しているということで、設置しました。ありがとうございます。市長の加藤です。ごめんなさいちょっと繰り返しここ重要だと思いますので繰り返し確認をさせてください。
0:20:44	今現状トリウム燃料を持っている総量としてはまず 441 っていう理解でいいですか。
0:20:54	今日はヤマモトでございます。はいその通りでございます。それ、今、2ヶ所に、トリウム燃料を、
0:21:06	保管しておいて、1ヶ所には 270 キロ、もう一つには、171 キロ入っているっていう理解でいいですか。
0:21:17	はい、影響度ヤマモトでございます。その通りでございます。
0:21:22	それで、今回の予算取りの貯蔵庫は 2 個つくります現状と同じ 2 個つくりますと、それで予定では、
0:21:33	今、症状は 441 なので、
0:21:38	約半分の 230 キロぐらいを、を入れるっていうふうに予定しているってそういう理解でいいですか。秋本山本でございます。その通りでございます。わかりました。
0:21:59	規制庁のカトウです。
0:22:03	続きましてですけど、
0:22:09	資料のほう、今度は資料の 1 の方に、
0:22:15	移らせていただきまして、
0:22:24	前回から変えていただいたところに関してとなりますけれど、
0:22:33	資料 1 の 20 ページのところから始まります臨界安全性評価についてのところで確認させていただきたいのですけれど。
0:22:46	先ほどご説明いただきましたように今回モデルを二つ。
0:22:52	変えていただいております、そのモデルの中で、
0:22:57	計算結果を記載していただいているんですけど。
0:23:03	こちらは、
0:23:06	耐震クラス、只野耐震クラス、
0:23:14	ですね。
0:23:18	許可の段階で決まっているかと思うんですけど、Cクラスになっているということで、Cクラスですので、地震によって壊れる可能性。
0:23:29	わかる。
0:23:30	ということを考えておまして、その場合に、
0:23:34	ただ自体が壊れることによって、玉からバードケージが落下するっていうことも考えられるかと思っているんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:44	この件については、臨界安全性評価っていうのはどのように考えられておりますでしょうか。
0:23:58	京都大学の三澤です。これ燃料の建設工事の時に説明させていただいたんです。説明させていただきたいんですが。
0:24:09	これ、内部系Gウェア入れつつにしてもですね、臨界にならないことをまず確認しております。それとですね現状、それはちょっとかなり極端な話になりますので、
0:24:23	現状、今持っているバードケージをすべて積み上げたというか二輪風場を考えるとできるだけ立方体に近く積み上げるのが、
0:24:34	トリング安全上厳しくなるので、そういう条件で積み上げたとしても臨界にならないということを確認しておりますので、
0:24:44	仮にバードケージが悪化して固まった状態になっても臨界にならないと、いうことを確認しております。
0:24:53	以上です。
0:24:56	規制庁の加藤です。
0:25:02	吉江さんの今の件なんですけども、もし仮にそういう
0:25:07	連動、
0:25:09	の作成のときに、確かに無限大という評価が一つあって、あと実際に、
0:25:19	金川若菜からその窓口が降りて、ある程度、
0:25:26	直包帯というか、立方体に近い形に並べても、委員会にならないという評価がバックとしてあるのかもしれませんが。
0:25:36	それはそういうパターンに通常置かれてる状態が維持できないと、維持することを、仮定し、
0:25:48	仮定してきてると、いうことであればそちらの評価を載せるのが妥当じゃないかというふうに今、もう感じたんですけれども。
0:25:58	今のこの申請書だと、
0:26:03	1モデル2とありますけども、棚の中に、バードケージは、収納というか、その配置は多少変動するけども、
0:26:14	変わらないということを前提にした評価になってるので、
0:26:18	130
0:26:20	もしそういうバードケージ方にあるということが保証しなくてもいいということであれば、そちらの評価を、
0:26:30	載せるのではないかというふうに思うんですけどそ、その辺はどう考えですか。
0:26:39	教育大学でミサワです。
0:26:42	ご指摘の通りかと思えます。ステージの評価を行っておりますので、そちらの評価を載せるようにしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:52	規制庁の三好です。バードケージがどういう状態まで考えるかというところに関して、
0:27:00	モデルを作成する上で重要な点なんで、もし、
0:27:04	この多田にあるっていうことを前提にしなくても臨界にならないということであればそちらの評価をしてもらうというのがまあ、
0:27:13	誤解がないんじゃないかというふうに思います。あともう1点ですねそれは今、貯蔵棚にあるバードケージのに関する臨界性なんですけども、そのトリウムの燃料との
0:27:28	値としてはそんなに大きいとは思ってませんが、不祥解消も含めて、トリウム等他の、
0:27:37	燃料との、を含めた民間安全性が求められるわけなんですけども、このモデルを、
0:27:45	これは取り下げるっていうことかもしれませんけど今
0:27:49	資料の、
0:27:51	社長でちょっとモデル図があったと思うんですけど、7ページですかね。
0:27:56	普通の燃料種類のトリウム貯蔵庫の設置位置っていう図が、資料にありまして、
0:28:07	これ資料2、
0:28:11	資料1を55ページは25ページ、19にもあります。
0:28:19	それね、それは資料1ですか、7ページ。
0:28:27	そうですね。それで、
0:28:30	実際はこういう燃料所の中で、
0:28:34	ちょっと疑って取り組むちょっと今日は、別の壁にくっついてるということなんですけども。
0:28:41	これをもう計算のモデルとしてはですね。
0:28:51	計算モデルが、先ほどモデル1モデル2と。
0:28:56	いうことであつたと思うんですけども。
0:29:01	いわゆる一直線にこれ並んでるっていう。
0:29:04	そういうモデルに見えるんですけど、26ページですか、それはそういうモデルでの計算、今出てる資料についての質問なんですけども。
0:29:16	モデルかどうかっていうのをちょっと確認させていただけますか。
0:29:21	はい。京都大学伊佐です。今計算はこのようにしております。実際はですねこの図面、最初の図面にありますように、
0:29:34	燃料代側の感覚っていうのは若干ちょっと広く、通り曲がる形で若干広くなります。それよりもですねこのくっつけた方が
0:29:44	隣接するということでこちらのモデルを使ってるというところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:51	まず燃料代の臨界計算ということでは先ほど取り下げるとのお話があったと思うんですが、今の私の考えとしてはですねこれはこれとして残しまして、
0:30:05	それとは別に東電量バードケージそのものの流体計算を追加するという形の資料を作りたいなというふうに考えているところでございます。以上です。
0:30:19	規制庁の三好です。
0:30:22	時計Gの計算をする時のモデルはより厳しい立方体課長交代に近い形の、
0:30:32	これ、それは理解しましたが、一般のトリウムとのですね、
0:30:39	夜間所というかそれを考える上では、実際の2次元的な配置に対してですね、1直線上にこういう並べたグループ燃料が
0:30:51	横にあると言う方が、その安全側かどうかというのは、
0:30:57	確認する必要がある、あるんじゃないかと思うんですけどその辺はどうお考えですかね。
0:31:09	はい。京都大学伊佐です。
0:31:14	今のこのモデルということで、これの通り、当然鳥井虚しいの計算もしてるんですが、これ鳥海この位置に設置した時にはほとんど変わらないと。
0:31:24	いうことは確認はしておりますので、そういう意味で鳥居部についてはですね、このモデルで十分に安全上は確保できるだろうなというふうには考えております。以上です。
0:31:38	ほとんど変わらないっていうのは直線のモデルで、あれした状態で、
0:31:44	その2次元的な配置を考えればこれ値としてはですよ。ほとんど影響ないかもしれないんですけど、モデル的には
0:31:53	何ですかね安全側の評価になってないんじゃないかっていう、そういう指摘なんですけど。
0:31:59	はい。
0:32:00	ちょっと今のご指摘、先ほどご指摘がありました通り、一番まず厳しい条件で確認するということが重要かと思しますので、先ほど言われたような
0:32:16	燃料をバードケージ建設させて、さらにトリウム近接させるようなケースはこれも実際行っておりますので、そういうことをあつてそれよりも離れているので大丈夫と。
0:32:29	そういう形でさせていただこうかと思ますちょっとこのところはですねモデルもちょっと厳しいような条件で計算するというので考えたいと思しますのでよろしくお願ひします。
0:32:41	はいわかりましたじゃ25ページの図の2-1にあるようなモデルが見直すと、より厳しい条件も含めて見直すと、そういう理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:54	教育ITサービス部は、ご指摘の通りです。東翼できるだけ厳しい条件を課してですね、計算するとすでに実は決算を行っているところがございますがそれをやっていると、やりますということで、
0:33:08	訂正したいと思いますのでよろしくお願いします。はいわかりました。じゃあこのモデルが厳しい状況になってるかっていうことをその分の説明等にも、
0:33:18	含め、含めていただく形で、
0:33:21	計算結果を示していただければ結構かと思えます。
0:33:36	規制庁の加藤です。先ほどの、
0:33:40	話に戻ってしまうんですけども、トリウム貯蔵庫のお話の中で、1点もう一度確認させていただきたいんですけど。
0:33:49	新しく作る鳥山貯蔵高につきまして、その最大容量っていうのが230kgというようなお話あったかと思うんですけど。
0:34:02	それとも本当に最大まで入れた場合でも230kgまでしか物理的に入らないっていうことで、合ってますでしょうか。
0:34:12	先ほどの山本でございます。
0:34:15	はい。最悪管の中に入れますので細管に全部入れましてもですね大体230キロぐらいな、少し細かい数字少し若干前後するかもしれませんが、大体それぐらい。
0:34:29	なると、ということでございます。土佐菅野図が、
0:34:37	別のページにございましたが、すいません。
0:34:48	5ページのところに、最短の図がございまして、それですね。
0:34:56	トレイというのがございます。そこ全部を埋めていって、場合にどうなるかということで大体230ぐらい。
0:35:06	だということになりますが、
0:35:09	ただちょっと5ページの右上のところ図がございまして。若干上スペースがございましてそういったところに、今まで入れるということまでを考えていないと、あくまでこのトレイの中に入れた場合ということで大体200、
0:35:25	30キロぐらいになるというふうに考えてございます。細かい。
0:35:30	数字はもう少し出して話した方がよろしいでしょうか。
0:35:37	規制庁、加藤です。かながありましたら追記をお願いいたします。
0:35:43	兵頭遠藤です。この副参事ともいうところもう少し見直して正確な値を書くようにしたいと思えます。
0:35:51	規制庁の加藤です。今の点もそうなんですけれども、先ほど私の方で確認をさせていただいた、今現状、トリウム年度については全量441キロ保管している旨、
0:36:08	それと、今現状2ヶ所で保管していて、1ヶ所270キロ、もう1ヶ所171キロで保管している旨、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:19	それと今言った、新しく作るトリウム貯蔵高の貯蔵容量。
0:36:24	それを、資料の方に反映していただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
0:36:31	兵藤ヤマモトでございます。わかりました。そのようにさせていただきます。よろしく お願いします。
0:36:42	作成者のミヨシですけど一遍ちょっと今のちょうだいをする方式と、あと委員会の 計算との関係を確認したいんですけども。
0:36:53	今考えられてるのは、491 キロをほぼ、
0:36:59	二分して、230 キロ程度に、
0:37:02	分けて、それぞれトリウムをちょうどここに入れると、いうそういう仮のやり方が、考 えられてるってことは理解しましたが、その時にそのボリュームの長容量と、
0:37:14	その辺が考えられてる、市田井野鳥居もちょっとここに入れるのは、例えばその物 理的にですなもう
0:37:23	その 230 を超えないってことがわかればそれを反映させたモデルで計算して いただければいいんですけども、ちょっと後釜 230 以上の容量が入れようと思え ば入ると。
0:37:38	ということになると、かつ、計 3230 ということ的前提にした通算をするということであ れば、実際保安官、
0:37:49	地形上の制限である 230 というのを明記して、かつ、その附属でどこにこういう形 で 230 体を入れますと、230 キロ入れますと。
0:38:00	いうことを明確にした上で、計算に入るということが必要だと思いますけども、そう いう理解でよろしいでしょうか。
0:38:12	兵頭の江本でございます。臨界計算としましては重量するよう、コリウムですね、 全量という、そういう前提でやっておりますので 441。
0:38:26	それを超えることはないということで臨界計算を行っているという、口頭ございま す。市長は、実際にそうすると、441 キロっていうのは取り一つの取り入れ状況に は収納はできない。
0:38:41	けれども、そこに、
0:38:44	441 キロのボリュームを集合した形の計算にしてるってそういうことですか。
0:38:52	強大な濃度でございます。その通りでございます。それとその時の公取のちょうど 具体的な 441 キロの配置とか体積とか、その辺はどういうふうに仮定してるん ですか。
0:39:11	はい。京都大学ミサワです。
0:39:14	今説明ありました通り藤島海のですね。
0:39:18	もともとこれ設工認としては別の設工認になりますので、トリウムがある意味、二 つあろうが一つあるだろうが、それに耐えられる燃料等の設工認と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:30	ということで考えましたのでこれは、鳥海の方はですね 441 キロ、これを立方体上に固めてですね、そしてここに配置したと。
0:39:43	7 メーター以外、1 メーター以上ですね、お話たところに配置したということでAとしております。
0:39:56	それ先ほどちょっと言いました通り、
0:40:00	この委員会計算のところすみません先ほど申しましたように、より厳しい条件で計算したものを御示したいと思いますので、そのところでそこをしっかりとわかるように記載したいと思います。以上です。
0:40:18	規制庁の三好です。そのより、計算上ですねより厳しい。
0:40:25	前提になってるとするのは河津その計算の上での一つの前提条件としてはあるんですけども。
0:40:33	いや一般的にはですね、設工認ですと、当然、許可の段階ではちょっと岩田とかいうのが解析なり、授業なりで規定されて、それを、
0:40:47	カバーする形での臨界安全性が担保できるっていうことの一つを示してもらわけてですけど、説明文の段階では具体的にその年、
0:40:58	現有燃料ですね、どういうふうな、可能な条項に入れると。
0:41:05	そういう計画に基づいて、
0:41:09	実際のような
0:41:11	臨界が担保されるかどうかということを確認するのが、本旨だと思うので、何でもかんでも調査用地処分による上回る形で、
0:41:24	燃料を入れた形での計算をしておけばいいということでもないと思うんですよね私ね。
0:41:30	だから、許可の段階ではそういう 441-9、最大限のインプットに対しての計算を、あまり配置とか考えずに、厳しい条件っちゃうのはあるかもしれませんが。
0:41:43	設工認の段階で、具体的に納められないものをモデルにするというのはどうかなという気もちょっとするんですけどその辺はどう考えられます。
0:41:57	すいません京大の鎌田でございます。ちょっと宣伝はちょっと違うんですけど、先ほど来ずっとこう話を聞いてますと、
0:42:04	今の依田のトリウム保管庫の耐震Cなんですよ。耐震というのは当然規制の時に、もうそういうものを補完するものとして耐震Cでいいと。
0:42:14	ラジオ分類で認められてまして、その時に今の話だと、耐震C以上の地震が来た時には燃料が落ちるだろうと、というような話も今出てきたんですけども、まずは、
0:42:25	設計の設計としては、そういう、耐震Cの中で、今納めてるものが、大丈夫かどうかという、それ以上ですね例えばもっと大きな地震が来ているので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:38	の窓口が落ちるとかですね、なんかそういう話だと、そういうことも考えて取りの方は、そういうことで今考え一つの燃料をそこに置いてるということなんですけども。
0:42:51	そこにそのままだと今の配置でちゃんと臨界計算をして、OKであればOKと。それ以上のことっていうのはもうこれだけのリスクなのかもしれませんが、それどこまでそれを考えるのかというふうな、
0:43:02	話が最初から話が聞いているとちょっと後ちょっと方法があると判断なご意見だとは思ったんですけど。
0:43:09	ポリウム、ごめんなさい年度の方は何かそういう落ちることを考えてどうのこうのって話があったんですけど、手続きの方は、そういうことを考えて施設のものに、脱退して一番最大の、
0:43:20	ものと、それから設計じゃないですよ。
0:43:23	そういうことを、今、ご質問のちょっと最初の方の議論で違う気がするんですけど、ちょっと私も首藤なんですけどちょっとロジック的には何か違う、反対の事をおっしゃってるような気がするんですけどいかがでしょうか。
0:43:36	はい。規制庁の三好です。それは反対っていうことではないと私は思ってます。
0:43:42	つまりですね貯蔵団の方は、
0:43:45	基本的に、今回のモデルが前回、前回っていうか、燃料貯蔵庫の、
0:43:51	年度政策の時と違った、そういう、何ていうんですか
0:43:56	いわゆる貯蔵棚が健全でそこにバードケージが収納されてると、その収納の具合については多少位置のずれとかいうのは、
0:44:06	考慮するというその範囲での計算結果が出てるわけなんですけども、ただそれは、貯蔵だ何か、
0:44:15	耐震も含めてですね。
0:44:17	そういう窓口が転がらないということが前提になってることが前提になってんじゃないかと思うんですよ。ですから、最初に議論してたのは、そういう、
0:44:28	内部掲示からバズ掲示が注文がから移って、前回すでにやったような計算でも臨界性が保たれるのであれば、そちらをケアの評価として載せ載せるとです。そうすれば、長田辺の
0:44:44	このNKGの配置を確保するっていうそういうことについての評価評価というか、言わなくなるんじゃないかとそういう意味で申し上げてるんですね。
0:44:56	あともう一方その猪島海所属の方は、
0:45:00	通常こういう貯蔵庫では二つあって、そこにそれぞれのその通用量が決まってるのであれば、設工認はその段階で、そういうことも前提に戻るかをするというのが一般的です。それは、
0:45:15	当然その鑄造だなあ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:45:17	例えばアンカーボルト等で固定されてるんでしょけども、それが設計の基準からいって、その二つが、正田が動いてですね、二つの二つが合体するとか、
0:45:28	そういうことが考えられなければ、
0:45:31	わざわざインベントリを二つ合わせて1ヶ所に計算する必要はないと、今長さんはそういう前提に立ってるので、先ほど申し上げましたように、
0:45:43	ようやくように、全量一つのちょうどために、まとめてですね、仮想的な状態を作って計算する必要はないと。
0:45:53	いうことを申し上げてるんですけども。ですから、貯蔵の後、燃料の貯蔵について、それを要するに計算をするまでの前提が成り立ってるのが成り立ってないのかによって、
0:46:06	考え方が異なると、考え方っていうかそのモデルの作り方が異なると、そういうことではないかと思うんですが。
0:46:26	実際、ちょっともう一つ補足すれば、実際の所長が名或いは貯蔵ラック等で一定のことをして配置も決めると。説明の段階ではそういうラックの位置なり、
0:46:38	種の位置なりってのも決める、決めますから、それを前提に、そういう場所も含めて計算をするというのが一般的で、
0:46:49	なので前回そういうその結合の段階で、距離文書動向について、二つをまとめて、全量をまとめた形で計算してるというのは、
0:47:01	極めてまねな評価たっぷり印象を持ったんでちょっとコメントさせていただいたということなんですけども。
0:47:18	京大の釜江でございますすみません
0:47:21	ちょっと繰り返しになるかもしれませんがちょうど依田の方は、今、1列に並べては後ろに壁がどうのこうのというこれは実際の今の配置とは違う。
0:47:34	モデルで計算をおいしてるわけですけども、今の皆さんの話から言うと、例えば、とりあえず保管庫の方は、二つあって、それぞれある場所に固定するので、
0:47:49	そういう体系の中で、臨界計算をすべきだと。要するに、我々、今我々やってるより保守的だということで、1ヶ所に原料が集まった形の計算をするのではなくて、
0:48:01	今、設計通りで計算をしてOKだと、そういう意味では燃料代の方も、実はご覧いただくように思います壁がすごいわなくて、
0:48:13	つけて曲がってるんですけど、曲がってるのでそういうのはまっすぐと、どちらが保守的だっていうことをこちらとしては多分、まっすぐの方が保守的だということでやってるわけですけども。
0:48:23	今のご指摘だとすべてその背景でまず計算すると。それから鳥井委員どうぞ。バード系についてはただホテルだけなので、地震で、4月の末程度の地震が来たのは当然すべるといいう可能性があるんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:38	防災材への連絡は必要な形というそこまではやってもですね、タンナーズそのものの位置についてはやっぱり、まずは現状の設計通りの、何かを計算しなさいと。
0:48:52	そういう、
0:48:54	ご理解、理解でよろしいんでしょうか。
0:48:57	はい。規制庁の東田ちょっと話が、二つのことが混乱してるっていう印象を持って るんですけども、まず
0:49:08	実際のこの金戸鳥海のちょうど図面にあるような形で置いた。
0:49:15	ないと、今、苦境町とか今回出てきた一直線での計算が、どちらが保守的かって いうのは、これは一直線の方が非安全側になってるっていうのが私の判断です。 なぜかっていうとその一直線で並んでるといのは、
0:49:32	トリングと農区と、他の、特に治水原則信用の方の多少離れたところの、
0:49:42	東京都との相関所っていうのは小さめに見積もる方向にあるので、
0:49:48	障害者を考えた場合は、
0:49:52	今今回出てきたような一直線よりも、実際のこういう、
0:49:59	2個目をこれ、見込みは市が決められてないんで、11メートルのところにとどめた ってことなのかもしれませんけど、いわゆる、
0:50:11	こういうちょっと変則的なカフェインに沿った形で貯蔵場があって、それにちょっと 向き合う形で取り組む貯蔵庫があると。これが実際の配置だとすれば、
0:50:22	それを1直線上に持ってたものに対して、物が安全、非安全側だというのは即 断はできないと思ってます。
0:50:33	ですから、
0:50:35	逆にまで行った時に見ればこういう、
0:50:40	ちょっと折れ曲がってて、取り組むと僕は少し、1メートルぐらいのところにあるとい うのは、計算してみないと、どうなのかなということがあるので、
0:50:51	それが一つ安全側になるという方を確認した上で、申請書に載せていただくとい うのが一番いいんじゃないかと思う。ただそれはですねあくまで、
0:51:05	配置があった上で、どういうモデル化を作るっていう或いは計算モデルの話な話な んですね。先ほど赤川先生が言われた、
0:51:17	貯蔵庫から、
0:51:18	板東教授が起こってるかどうか。
0:51:21	従前は、それも宇都国谷坪田のあるわけですけど、だから落っこちないってことが 言えれば、耐震性も含めて言えば、
0:51:33	別にそれで計算をすればよくて、必ずしもそのすべてそういう何かを起こして、結 局大谷なるような、それはそれ自身非常に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:45	余りに仮想的な評価ですから、通常はあくまでそういうことが起きないということが言えれば、長丹野、大西バードケージが収納される範囲で、
0:51:58	位置的なものを制限しないのであれば、多少、一応検討させて、どちらが厳しい中で、それはモデル1モデル2と。
0:52:07	いう形で今回示されてるんで、そういう形での評価ってということ自身は私は全く異論はありません。
0:52:15	曾田の評価と、
0:52:19	兆候の評価で、想定すべき。
0:52:23	はい。どこまで考えなきゃならないのかということがご質問の趣旨だと思いますけれども。
0:52:29	早い方としてはそういうことが起こり得ると考えなければいけないのかどうか、それに尽きると、いうふうに思います。特にラックだとか、
0:52:41	鳥井部長同行みたいですねそういった山忠動向みたいなものは、基本的に一応決めて、
0:52:48	当然市が動かないということにしますから、そうするとそういうような施設の場合には、それぞれのラックにどれだけ入れると。
0:52:59	いうことを、インベントリー的に制限する、或いはもう物理的に入らないような、ちょっとこれを作ると。
0:53:09	もし、物理的にはもう入るけれども、臨界計算上、各町村に対する受取助成がするんだと、いうことであればそれは、
0:53:20	保安規定に明記していただいて、かつ、同じ研究だけでも、形状とか、そういったことによって、臨界系計算上は評価が異なりますから。
0:53:31	要するにどういう配置をしてその下に入れるのかと、そこまでのを、
0:53:36	制限というか、状況を明らかにして計算をしていただくと。
0:53:43	やっぱり、中途の考え方はそういうことだと思います。
0:53:48	以上です。すみません何度も京大のカマエでございますこの最後にしますけど、ちょっと我々能勢設計耐震Cっていうのはですねこれ新規制のときに、多分そういう、
0:54:01	求められるよ、要求としては、Cクラスでいいだろうと。それがもし設置以上のことが来ても、特にそれで災害、災害に至るようなことはないという、
0:54:12	その10億決めた時には多分そういう議論の中で多分決められたと思うんですけど、今回の設工認もそれに従ってちょうど一応取り保管庫にしる耐震Cでは十分、
0:54:24	機能を発揮できるという設計をしてるので、その枠の中で考えるには当然バードカービング落ちないと、当然落下防止なりですね、当然あれ、もっと大きな、大きな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	地震を想定して上下動が出るとかです。ね、そうすると、それを飛び越えて出てしまうとかです。ね、そういうこともあると思うんですけども。
0:54:42	今Cで決まってるということは当然そういうことを考えなくてもいいということで、当然その中では、設計の中ではまだ計上しない。
0:54:50	鳥居部関係も動かないということで今設計してるわけですけど、それを、そうじゃなくてももしそうなったらどうだってもちそれ以上に来て、それに落ちたらどうなるんだ。
0:55:02	どうのこうのっていう話がさ、その次に出てくるんですよ。でもこれ、新体制の時にもうそういう話であればですね。
0:55:10	落下して何か起こるんじや耐震Cと駄目なわけですよ。だからその時にCで言ったことはそういう評価ができて理解があったからできたと思うんです。それを我々としてはやっぱりその先、
0:55:23	やはりその7以上のことが来て何かなった時にということで、トリウム店も二つあるけどそれが一つに合体することは、これはもう当然、そこはずれて動くということでしょうからそういう最悪のことも考えてってやっているとそこまで必要ない。
0:55:38	であればですね、今のおっしゃったようにその落ちないところ、壊れないという前提で物事が進むのであれば、今の体系で、委員会評価をすれば、もうすぐ話だと思っうんです。
0:55:51	より、よりその先のことを見ると、そういうことを考えるのが一番最悪のシナリオって、こう、
0:56:00	耐震Cだから受けないとかって言ってるじゃなくて、そういうことも考えてやるというのが我々のスタンスだったんですけど。
0:56:07	相馬です。河合先生すいません原子力規制庁の駒井です。
0:56:13	すみませんいろいろちょっと議論闊達になってるんですけども。あくまでの耐震設計っていうのは、耐震設計ですんで、これはCクラスだということなので、
0:56:27	Cクラスの地震力にもつように設計するということがマストですんで、当然、Cクラスで、生活地震力には持つんですけど。
0:56:39	それ以上のところの話に関しては、こんな臨界の話なのでそこを耐震設計の所掌の範囲外です。
0:56:49	ジェスチャー壊れます壊れていいんです。
0:56:52	こうやってもいいんですけどこうやった結果どうなるんですかってのは臨界の話はまたそれで別で、今やっていると、いうふうにならざるご理解いただければと思いますが、井川の拠点のカマエいやそれはもう当然わかってないですから。
0:57:06	そういうものが壊れてもだから、バードケージが落ちるということも考えながら、ただ、良くてですね、当然、和崎城奥っていうことも耐震の話の中に入ってるわけですから。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:18	CCのレベルの地震が来た時には、バードケージ落ちると、これは他のとしての機能を果たさないわけですから、棚そのものも当然耐震構造物ですけど。
0:57:29	これは種が落ちないという、だけじゃ落ちないということもこの一つの年度からの、
0:57:35	求める機能ですから、正しいCの地震では落ちないというので落下防止とかやってわけですね。だからそれを今おっしゃったように敏感切り離すんだ。切り離すということで、今とるのを一つに合体するとかです最大。
0:57:49	もう年容量がもうそこにあるというふうな形で、実際には月起こりえないことでもですそれは年もあるわけですから、それが限界という安全のためにそういう過程でやってるわけですね。
0:58:01	それは全くその費リンクさせるわけできればそこは切り離して、次、私はやってると思うんですよ。そうじゃないですか。
0:58:10	その臨界発生のちょっと私もそこはは、専門外なんですけれど、えっとですね今大事なのは、
0:58:19	岩見さんがおっしゃってるのはこのわざと受振とか何かの出来事によってわざとくつトリウムとかをくつつくわけじゃないですよねそこまではやらなくていいですよってうだけの話です。
0:58:32	事象地震の結果によって必然的にCクラス例えばSSPが壊れるので、壊れた結果がざっと下に落ちると、その結果の下が起る可能性はあるかもしれないということで、その評価をしてると、そういう観点です。
0:58:54	それは、ごめんなさい。駒井さんとあんまりそういう議論あるようなんですけど、だから今の考えを鳥井部の方にも、適用してるだけの話で、
0:59:06	だから、電力電容量を考えてっていうのも、会社という場だけが落ちると一緒に、そういうことを考えて、会社って落ちるのはSsが来たら必然的に落ちてもいいんです、落ちるはずでそれは。
0:59:21	もう一度すみません。Ssの基準地震動とかが来たら、必然的にあの会社がちょっと落ちます。
0:59:30	でも、鳥海の貯蔵庫はわざわざ誰かが人間が悪意を持ってやらない限りはならないです。
0:59:37	いや、それはどういうことですか。この議論をここでずっと続けるわけにはいかないので、これに関しては、ちょっと加藤さんちょっと今大事なことおっしゃったので、はい。
0:59:51	ちょうどバードケージ落ちるけど鳥海何とかがっていうのはそれによってCクラスでアンカーを設計するわけですから、拙速例が安閑飛んで動くあるわけですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:03	いいですか。三條鎌田先生が否定できないわけですよね。釜谷先生規制庁の荒川です。釜谷先生のおっしゃってること、論理的なあというふうに僕は聞いていました。
1:00:15	それで、ちょっとこれは我々も確認しなきゃならないし、兄弟さんにも教えて欲しいところなんですけれども、このタダであるとか、貯蔵庫の、
1:00:27	クラスC耐震クラスCであるっていう評価はですね。
1:00:31	どこまでのことを考えてやられてるのかなって気がするんですよ。壊れてしまいました。ただ壊れてしまいました。その結果ですね。
1:00:43	どういう事象が起こって、5mSv、もういかないっていうおそらく話なんですよ。5mm超えてくれば、それはSクラスで作り上げなさい。
1:00:57	で、Cクラスだと幾らだっけ、小浜五島君だけ 50 マイクロ以下だからCだ。これは新規制基準の別表だったかな。フローチャートがあって、
1:01:11	あれに基づいて、来栖分類をしてるかと思うんですけども、そのときの評価っていうのが、ここどこまで考えていたのかなっていうのはちょっと僕気になっているところです。
1:01:22	もちろんそのあそこの評価ではですね、臨界まで考えて、外に与える放射線の被ばく。
1:01:32	ていうのが、50mSvということであれば、そこはもう整理がついてるのかなっていう気がつきがするんですね。だけどあくまであそこの評価については、
1:01:43	落ちて、閉じ込めみたいなものが破られてしまって、それが事業所境界のところまで50mSv以下ないっていうぐらいの評価だけしかやってないのであれば、
1:01:57	そこは臨界のことを、ここでもう1回考え直さなきゃいけないのかなっていうふうに僕はちょっと思っています。なので、クラスCにした時のですね、評価がどこまでやってるかっていうのポイントになってるかなっていうふうに、
1:02:11	僕は思っています。
1:02:18	京都大学の三澤です。
1:02:20	まずCという、確かに 50 マイクロ以下に五味五味にまずいかなっていうところについては、評価しているところがございますが、それは臨界遠慮しての理事会事項っていうのはそれを
1:02:35	想定外ということで、ここはもうどう考えても委員会にならないと、いうことで、考えたと思います。で、ライド考えられる最大のものはやっぱり、
1:02:48	燃料の発想によってFPが放出されると。
1:02:52	ということが、検討してその上で、数量は敷地境界で構外というところで評価したところでございます。ですからまたCという根拠はですねそこから来たというところで理解しているところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:09	はい。三沢先生、先ほどですね。うん。
1:03:12	燃料ザード掲示が落ちたときにどうもこうって言われたのは、加藤さんですよね。最初に言われたのは、藤さんがそう言われたので、そういう話になっちゃったんですけど。
1:03:23	ちょっと、
1:03:26	今回の評価と、落ちたときの本当にどうなるんですかっていう評価は、燃料代の設計ってのはこれ本当別問題なんじゃないかと思うんですが。
1:03:39	それはバードケージの設計の話ですよね。
1:03:43	ですから加藤さんが最初言われた。
1:03:46	落ちたらどうするんですかという、そのご質問の。
1:03:50	もし、私はその意図がよくわからないんです。庄子。そうなるとモデルにっていうのもどうということなんですかっていう話になっちゃうんですけど。いや、モデルにはにね。
1:04:01	すいません。モデル市の方は、燃料弾のセンターに入れてるんですね、議会の方を立てしてるのを、以下正直。
1:04:11	そこはサインずれたら、
1:04:14	当委員会当然厳しくなるわけですね。
1:04:18	そうすると、藤社員ずれても、大丈夫だということを確認するためのものが、モデル2です。もし、レベル2の計算がなければ、
1:04:30	バードケージを燃料代のセンターに絶対置かなければいけないという、そういう規制になるんですね。
1:04:39	ですからそれは不要だということでモデルにを入れてるわけです。比嘉石塚江藤さっきですね、多分下に落ちてどうのこうのという話とモデルにはこれは全く別問題というふうに考えております。理解してます。
1:04:54	すみませんこれ以上はここでやっても多分らちが明かないので、いやいやもう少しちょっとやらせてください。三沢先生今あまり認識してなかったことをおっしゃっていたと思っています、
1:05:06	その場明治自体の、その設工認はもう終わってるんですか。
1:05:14	は、グラフの、京大ミサワです。有地分です。これ将来のものを使って、
1:05:20	はい。既存のものを使っておりますので、そうするとす。
1:05:26	そうするともう、何ていうんですかね、無限に配列してそこでもう臨界にならないっていうのがもう確認されてるわけなんですね。これも新規制でもこれをやりましたし、承知です。もちろん新規制移行これ燃料新しくなりましたので、それについても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:44	説明はしております。承知です。その上で、その鳥山貯蔵事ですね、複合ユニットみたいな形は、
1:05:54	やられてるんでしょうか。
1:05:56	はい。京田伊澤です。えっとですね、ある意味、バードケージと燃料アトリウムのは、新規制等ではやっておりません。今回初めてってことですかね。
1:06:11	今日、燃料政策のとき、そういう話をしました。燃料政策の増設工事のときに、そういう話をさせていただきまして、現状で、あん時はとりあえずちよつこう、
1:06:26	食数横につけるという、計算でやったんですが、それでも大丈夫だと。
1:06:32	それはですねどうしてかという、当時燃料のトリウム位置が決まっていなかったんですから、今一番厳しい条件ということでトリウムを。
1:06:43	密接させて計算させたという経緯がございます。じゃあもう委員会については、その燃料製造のところ、もう終わってる。
1:06:53	って感じですか。そういう意味では、
1:06:55	落ちた場合ですね共同ミサワです。ご指摘の通り、叔父上にたまった場合でも大丈夫だというのは、燃料政策の時の設工認でご説明しております。消防署の隣の鳥山技能長同行。
1:07:09	が、このくっついてってところまでやってるってということですか。そうですねはい。今回改めて臨界評価をしてるってというのが、
1:07:20	やっぱ焼き直しのところがあるってとこなんですかね。
1:07:23	むしろですね今回
1:07:26	貯蔵残戸数が減りましたので、前はですねこれ高さ■何だったんです。今回ちよつと下がって、収納できるバードケージの数も減りました。
1:07:42	本来ですと、安全側です。以前件数が■■■から、タイガー■だったかな。■■■という、これマックスなんですけど、
1:07:57	すいません。
1:07:59	以前だからいいんか。
1:08:04	すいません。ちよつともう少し数字が機械だったかもしれない。申し訳ないです。
1:08:11	椎野と言っても、まだ降りてませんので現状そうなっているんですけど大丈夫でしょうか。
1:08:20	これ以前の壊すんとこれも前のやつですね。はい、前野です。はい。はい。前の話ですこの新しいのはございません。新しいそれから、
1:08:32	製作するってということは、現在先ほどご発言いただいたもの、今は使っている。
1:08:39	ということではなくてでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:08:43	現行で使っているものであればマーキングし、申し訳ないです、現行は今、その数ですいません。ありがとうございます。はい。後程確認申し訳ないです。はい。すいません。
1:08:56	はい。まず経緯としては以前、今ご指摘欲しいご説明した通りでございます。わかりましたわかりました。そうすると、
1:09:09	現状現状ということで、既認可の中では、これから新しく作る貯蔵だなよりも、何ていうかなインベントリーの、
1:09:19	多い形で評価がもうできちゃってるってことなんですね。
1:09:25	はい。兵頭伊佐です。はい、ご指摘の通りです。わかりました。そうすると、そこでやったやつをもう1回出してもらうのかなって気がしているんですけども。
1:09:37	やっぱりですね、僕は最初にちょっと申し上げた通り、耐震クラスを判定するときに、どこまで評価してたかっていうところをやっぱポイントになるような気がするんですよ。
1:09:51	臨界まで含めてね、50 マイクロ以下だっていうふうの評価してるのであれば、そこはもう崩れようが何しようが、
1:10:03	それによって臨界が起こったって、周りの人たちには迷惑かけない 50 マイクロ以下なんだからっていうところまでやってればですね。
1:10:12	もう別に臨界が起き、規制良くないんですけど、行って申し訳ございません。幸田伊佐です。臨界はですね、これは評価しておりません。したいんですね。ありがとうございます。はい。正直■■■■で臨界になった時のですね線量評価を以前行ったことあるんですけど。
1:10:31	製紙用のときに、はい。これ、やっぱり無理ですよ。超えますですよ。なので、そこはやっぱり臨界は起こさせないっていう前提で、
1:10:43	ここは評価を進めていく必要があると思うんですよ。それはね、どんな状況になってもっていうところだと思うんですけどどんな状況になってるっていうのが、
1:10:54	ある程度のね、ある程度の条件というか前提は含んだ上でね、臨海には起こさせないっていうことが、
1:11:05	この評価では必要になってくるかと思うんです。だからこれまで兄弟さんがやった通り、貯蔵場から落ちて、無限に建て横積み上がったとしても臨界にならないっていう評価。
1:11:20	もそうですし、隣にプルームの貯蔵庫があるのであれば、トリウムが、どんな形になるかもう、わからないわけですよ。ある意味ね、ある意味ですけど。
1:11:33	それでも臨界になりませんっていうことを示してもらう必要があるのかなっていう気がします。
1:11:48	ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:50	うちの協会の三沢です。すみません須藤設置の仕方はどうすればいいかって、今ちょっといろいろ議論、いろんなご意見がちょっとあるところもございますので、
1:12:02	ちょっともう少し、これについては相談させていただきたいと思うんですけど、わかりました。これまでのまず臨界の評価っていうのを、
1:12:14	を教えていただきたいですし、三澤先生からもさっきありましたけど、じゃあそのCクラスの判定をしたのは、どういう前提でやったのかっていうのはもう、
1:12:25	整理していただきたいなと思います。そういうのを踏まえた上でね、この臨界の評価っていうのは、どこまでやらなきゃならないのかっていうのが見えてくるような気がします。
1:12:40	黒田遊佐です。どうもありがとうございますちょっと
1:12:44	過去の、今ご指摘ありました椎野クラスの評価のことを、ちょっと、
1:12:49	もう10年近く前に、ちょっと層厚等も含めてですね、ちょっともう一度、
1:12:56	整理させていただきたいと思います。要するに新規制の時も含めてですね、どういう議論になったかっていうね、ちょっと。
1:13:04	私の方でまとめたいと思います。はいすみません西内の方も、調べていきたいと思います。
1:13:17	はい、次進みましょう。
1:13:19	規制庁の加藤です。
1:13:22	あとはその審査部門から同じですか。
1:13:25	確認を、時間もありますので簡単にさせていただければと思います。
1:13:32	まず資料1の21ページのところを確認させていただきたいのですけれど。
1:13:40	資料1の方の21ページ目のところにヒストリー数が増えているかと思うんですけど、こちらが $1 \times 10^{-8}$ 乗となっています。
1:13:50	この1というのか、前回にだったと思うんですけどこれって何か変えた理由とかがあってあるんでしょうか。
1:13:57	長大山元でございます前回ののが間違っておりまして、本当赤字にしておけば、医師の方が正しいでございます。
1:14:07	わかりました。
1:14:10	それからですね。
1:14:12	これもう一度確認させていただきたいんですけど、27ページのところで評価結果が変わっているっていうのはあるかと思うんですけど。
1:14:25	これは前回のヒアリングの時から見直した結果としてこういうふうに変った結果が来てきたという認識で合っていますでしょうか。
1:14:34	はい。京都大学の澤です。ご指摘の通り全体的に我々ちょっと壁を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:41	考慮するのをしていなかったということございまして、壁をつけたということございまして、やっぱり壁、これ、ニーズがある場合はほとんどほとんど変わってないんですが、
1:14:52	区域の場合やっぱり壁の反射というのも結構効いて、
1:14:56	きまして若干前回より高くなったというところございまして。以上です。
1:15:03	規制庁はカトウですありがとうございます。こちらについてなんですけれど、これ申請目次とは異なっているかと思っておりますので、またここから、今日の議論の中でありましたように評価も変わってくるかもしれないんですけれど。
1:15:19	その申請後時とどういう点が異なっていて、こういうような評価をしたので、結果も変わっているっていうのはどこかで読み取れるように記載していただければと思いますよろしく願いいたします。
1:15:32	京大ヤマモトです。はい。承知いたしました。
1:15:37	こちらも少し
1:15:41	ちょっとご検討をお願いしたいと思っているんですけれども技術基準との適合性についてのところ。
1:15:47	話が、赤字で追記していただいているかと思うんですけれど。
1:15:54	ですよ。
1:15:57	M小学校のところ。
1:16:04	すいません資料1資料2、どちらもそうなんですけれども、昨年追加していただいているところが一部その、
1:16:13	条件に対して、
1:16:15	ストレートにこう答えられていないように見えて、
1:16:23	もう不要な不要ということに、何か、
1:16:28	コメントがあるというわけではないんですけれども、もう少し不用の理由を検討していただきたいなと思っております例えば、すいません、資料1の、
1:16:38	になるんですけれど。
1:16:40	15 ページのところの26 条の第 2 項第 2 号とかのところ、
1:16:46	ここの説明とかも、燃料要素は低線量であるため遮へいの必要はない。
1:16:53	いうことであれば、そのうちの、いろいろ書かずに、もうそこだけでいいようにも思いますし、
1:17:02	前回のヒアリングのこととかに、
1:17:05	少しお尋ねしています。
1:17:11	21 条の安全設備のところの第 1 項第 4 号イのところとかにつきましても、
1:17:18	これも
1:17:22	火災の発生県ではないためっていうことではなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:26	現在または難燃剤を使用しているのっていうのが理由のようにも思いますし、ちょっともう少しご検討いただければと思います。その上で、いや、こういうことっていうことであればまた再度ご説明いただければと思います。
1:17:50	続きまして資料 1 の 8 ページ。
1:17:54	のところでこれはもう実感だと思えますけれど、アンカー部等のところの埋め込み長さのところ単位が、
1:18:04	これってミリメートルのことかと思うんですけど、ペーパーメートルとなっておりますので、5 時であれば修正をお願いいたします。
1:18:21	後は、一井さんの話になるんですけども、
1:18:26	前回のヒアリングでお願いしました、許可との整合性のところで今回追記していただいているんですけど。
1:18:35	それが参考資料の後ろに入っています。
1:18:40	その基本的な資料ですので参考に入ったらもう、その後ろは参考資料になるのかなと思うんですけど。
1:18:48	基準のところへの適合性の説明となりますので、内容的には参考とはなっていませんので。
1:18:57	こちらにつきましても、適切な位置、
1:19:01	変更いただけるようにご検討いただければと思います。
1:19:14	だってね。
1:19:16	資料の上の方の 19 ページ。
1:19:22	のところになりますけれども、こちらは、今回追記していただきまして先ほども話いろいろ伺いましたんですけど、
1:19:31	もともと書いてある適合性の説明が、今回全部なくなっているんですけど、記載として前回、申請書に記載してある。
1:19:43	内容を記載していただいて、
1:19:46	具体的にはこの赤字のところ、
1:19:48	のように確認をしていますというような流れに修正していただくことをちょっとご検討いただければと思います。
1:19:59	その次の 20 ページになりますけれどもこちらなんですけれど、これいつがあるんですけれどちょっと本体とか生方とか打田とかっていうのが、
1:20:10	どこがどういうふうに対応しているのか、こちらの図だけではわかりませんので、
1:20:17	流通モデルとしてこういうのを使っていますっていうことなので、もう少しちょっとわかりやすく修正いただければと思います。
1:20:28	これ、左の図と右のその絵を比べた時にどこが本来、
1:20:36	どこがタッチーのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:38	だけではわかりませんので少し修正のご検討をお願いいたします。
1:20:47	これは、
1:20:51	次回のヒアリングの時にもあったお話なんですけれど、バードケージのサイズが許可とセットにんで踏ま異なっているっていうところあったかと思うんですけど、兄弟としてここってどういうふうにか、
1:21:03	対応していて、今後どういうふうに対応していくかってお話とかがかかっていますでしょうか。
1:21:20	東京大学の澤です。バード系のサイズの、
1:21:25	連動ということで、
1:21:27	ちょっとこれ
1:21:29	施設工事これ減ったのがもう40年前なんですけど、そういうところからちょっとそういうふうになってるということで、
1:21:38	ちょっとどうしようもないのかなというふうにかちょっと思っているところがございますが。
1:21:44	もし何か。
1:21:47	ご教示いただけたらというふうにか思うんですけど、
1:21:52	江藤阿藤です。
1:21:55	記載について、今後何かどこかで修正するとかそういうのって考えられてますでしょうか。
1:22:02	はい。
1:22:02	はい。京大ミサワです。今後ですね今日時計CM設工認が設工認でですね、申請は、タイミングとしてはですね。
1:22:12	これちょっとついたらですね濃縮の記載を全部落とさなきゃいけないんです。で、そういう記載の設置申請をですねできるだけ早く行いたいと思いますので、
1:22:25	そのタイミングで申請するというようなことをちょっと今考えているところがございます。以上です。
1:22:32	規制庁加藤です。わかりました。ありがとうございます。
1:22:37	石坂藤です。今ですね加藤小の方から確認もないようなんですけど、きちんと共同さ広井っていいですか。
1:22:51	あとはもう出てございました。はい。全部は把握しております。はい。大丈夫ですかねそうしますとちょっと確認なんですけれど、まずアンカーの埋め込み深さ。
1:23:02	メートルパーメートルっていうふうになっているのこれ、右っていう理解でいいんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:08	はい。あれ、京田山尾でございますこれ誤記でございますねミリメートル形です。はい、わかりましたそれとですねこれもカトウの方からあったんですけど、許可との整合の説明、これ審査基準になっていますので、3号の後ろっていうのは不適切な地絡を考えていますので、適切などころに入れてくださいと。
1:23:28	それとですね、あとその適合対象条文の説明なんですけれど、まずはですね、申請書に記載されている内容を記載した上でですね。
1:23:42	具体的に説明すると、こうなんだとかですね、それで今回ちょっとこういうことを考慮したためちょっとこっつのは今後こういうふうに変更するとか、まず現状の申請書でどういうふうにかかれていてっていうのを説明した上で、
1:23:58	効果赤字のような内容を入れていただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。
1:24:06	今日の江本です。はい、承知いたしました。はい。
1:24:13	規制庁の加藤です。審査部門からは以上となりますけれど、規制庁側から他に何かございますでしょうか。
1:24:27	お願いいたしますよね。
1:24:29	だからそ、そこが基礎のつかないと、JANSIんすよ。
1:24:33	方向で整理しちゃう。
1:24:37	規制庁の加藤です。宮本さんお願いできますでしょうか。
1:24:50	宮本さんすいませんミュートになっているようですので解除してご発言をお願いいたします。すいませんこれでOKになりましたでしょうか。よろしく願いいたします。すいません。
1:25:04	3点ほどあるんですけども、一番のポイントはトリウム貯蔵庫のところ、さらにその性能検査のところなんですけれども。
1:25:14	先ほど来のお話を聞いてますと、まだ整理が必要なところがあるという孤島ですので、それ次第でさらにこちらも
1:25:25	合わせて整理していただきたいということで、今日は申し上げておけばよろしいのかなというふうに考えています。一番のポイントがこれを
1:25:38	何を確認するのか、どのようなやり方で確認するのかということです。それが優良という話と、
1:25:48	社員線量という話、二つあります。
1:25:53	で、まず1点目はちょっと簡単なことでこれは今わかれば、ということですけども、これはもう、
1:26:04	容量というのは設備として先ほどの話だと、230キロも2台作る。
1:26:13	というような感じにも聞こえたんですけども、その辺は結局いかがなのかっていう話と、例えば表面線量はこれは20、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:24	マイクロということに
1:26:27	なるの、判断基準がなるのかということ、多分これはどこかを計ってということだ と思うんですけれども、まずちょっと次の話の前にその辺いかがでしょうか。
1:26:42	はい。京大ヤマモトでございます。容量につきましては実際に現在あります、トリウ ム燃料ですね、それを
1:26:52	実際はこの中にですね、移動まして、ちゃんと入るかどうかと、いうことを確認する ということでございます。
1:27:03	20 マイクロにつきましては実際に表面ですね、全体をですね測りましても、一番高 いところでも 20 マイクロを超えていないということを確認するということございま す。
1:27:17	はい。先ほど、なお、話の続きそこだけ言っておきました先ほどの者への線量の 話の中で、二つあって、それぞれが表面に 10 ならいいのか。
1:27:29	ていう。
1:27:30	ことでもなかったような気がするので、その辺はもうあわせて整理いただければと いうふうに思います。
1:27:37	それからこの中で出てくるこの破損燃料というのは、今の容量の中で、
1:27:48	どういう関係になるのかというのを明確にして欲しいということです。
1:27:56	続けて言いますと
1:28:01	それ、そのあとの次、まず、まず、すいません。まず鳥居部長同行の検査に関して は以上です。ここまでのところで何かあればということなんですけれども。
1:28:18	兄弟ヤマモトでございます。破損した燃料につきましては何らかの形で封印した しまして、それを同じトリウム貯蔵庫の中に、
1:28:30	出るということで少し分けて入れるということでそのための余分のスペースがある と、いうことを確認するということになります。
1:28:43	そうするとどこかで破損燃料はどういうふうに養生の仕方で容量に影響しますん で、余剰の仕方というのがどこかで制限を、
1:28:55	貯蔵容量にEAが確認できるような、養生の仕方の制限が出るということでよろし いですかね。
1:29:05	教育サービスどうもありがとうございます。まず破損燃料の件なんです、400、今 のこの数字のこのkg、これが今、破損燃料っていうのはまだゼロという状態になっ ておりますので、
1:29:19	もしは損が出るとするとこの中から、何枚かが破損という形で、分類されます。で すので、現状のものがすべて入れば、基本的には、
1:29:32	破損燃料もそこにシステムを保管できるはずだと、いうふうに考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:38	それからですね先ほど線量の話があったんですが、今のところ、ここの2台ある、それぞれのテルミット貯蔵庫での線量が20mSv以下と。
1:29:52	ということで担保するよということであると考えております。当然ボリューム、これそれぞれ離れてますので、
1:30:03	片方の制御が影響する可能性はありますが、共役うここのところ測って20mSvで、以下であること。これはですね検査も基準にしたいなというふうに考えているところでございます。以上です。
1:30:18	わかりました。現状の京都大学さんの考えはわかりましたけれども、先ほどの話で、計算の前提は審査での評価とかになるんですけども。
1:30:29	そういう話しないということもあるので、その進捗でこちらもあわせて検討いただければというふうに思います。
1:30:37	それから次の件なんですけれども据付け検査の所定の位置ってというのは、この所定の位置ってというのが明確ではないので、何が必要なのか例えば図の1でもいいんですけども、
1:30:51	そこで明確にして欲しいということです。これも先ほど話があったところで、例えばアンカーボルト小野市であるとか、
1:31:02	例えば今1メートルになってますけれども臨界評価上、何か設計担保で検査そ検査で確認するようなことが、
1:31:14	あるのかどうか、その辺を先ほどの話の続きとしてあわせて整理をして欲しいということなんです。
1:31:24	それから先ほどもちょっと話出ましたけれども、
1:31:31	鉛の遮へい返済圧、
1:31:35	これが今何かの担保要件になって、家寸法なりの検査の対象としなければ、約束確認ごとにしなければいけないのかどうかと。
1:31:47	というようなことを、これも合わせて、整理いただければというふうに思います。
1:31:54	ひとまずのところは、以上ですがここまで何かよろしいでしょうか。
1:32:00	はい。教育ミサワです。ありがとうございます。まず先ほど言われました1メートルという件なんです、これ検査対象になるというふうに考えておまして、
1:32:11	これは実測をします。
1:32:13	これ以上離れてることということで実測をすることを考えております。ですからそれを
1:32:20	どこなのかの据付け検査のところになるかと思いますが、固定されていて、燃料7から1メートル以上離れてることと、これは状況になるのではないかと。
1:32:31	いうふうに考えているところでございます。それからあまりの厚さの件なんです、今のところですね検査項目で0厚さということは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:46	今入れておりません。といいますのは、隣の厚さはですねこれの遮へい制度に関わるところですので、ある意味遮へい度能力って 20mSvというのを担保できれば、
1:33:00	それで線閉制度が確保できますので、全体ですねところについてはそういう形で、サイズとかですねそういうのは、
1:33:11	寸法検査ですねそのあたりはあるんですがということで今考えております。以上です。
1:33:18	はい。以上の点について先ほどの審査側との関係の続きとして、それを前提に整理していただければというふうに思います。
1:33:29	あともう一つ、とても簡単なことなんですけれども、貯蔵能力のところ資料を見ると、
1:33:37	ウランの方は、寸法員数で確認できるんだけれども、トリウムは確認できなくて入れて確認するんだということがありますけれども。
1:33:48	この違いって何なんでしょうか。
1:33:56	はい。なければこれが特にメインではありませんので。はい。ありがとうございます。
1:34:04	燃料についてはですねこれもバードケージ、井出衛藤管理するということでバードケージのところ各枚数が月規定されてますそれで、
1:34:14	担保できると。というのはこれ一つの大きなボックスになりますので、ここについては実際入れてみてやって等確認するということを考えているところでございます。
1:34:26	実際にこの先ほどデータありましたこの時は、車間といいますか、入れる細管のサイズという長さですねそれと、
1:34:36	唐木あれば、もうそれで計算もできることではあるんですが今のところ、実測で実際入れてみてということでやることを考えているところでございます。以上です。
1:34:47	わかりましたこれはちょっと今これ以上答えられないので、ちょっと整理いただければと思うんですけれども、一つはその裏についても、
1:34:58	これ、貯蔵設備なんで、員数ます。バードケージに入れてということですから、バードケージがどれだけ入る寸法員数で、貯蔵能力を確認するという形の検査、これ形式的な話になりますけれども。
1:35:14	やればいいんじゃないかという話。それから今の話でちょっとやっぱりよくわからなかったのは、ドリームだってき夜間に入れて入れるわけですから。
1:35:24	その細管のサイズっていうのは決まっていて、どれだけ入れればというのが進ん防員数で確認できるんじゃないかと、どうもやっぱりちょっとその違いは、今の説明ではよくわからなかったと。
1:35:36	いう状態であります。私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:43	どうもありがとうございますちょっと検査の方法をもう一度整理したいと思いますありがとうございます。はい。よろしくお願いします。以上でございます。
1:35:55	規制庁加藤です。規制庁側から他何かございますでしょうか。
1:36:06	1人からは何かございますでしょうか。
1:36:12	よろしいみどり事務所ですけど、特にございません。わかりました。長大川からは何かございますでしょうか。
1:36:24	はい。兄弟特にございませんありがとうございます。
1:36:29	それではごめんなさい。基本検査部門の宮本です。はい。もう一つだけ、ちょっとよろしいでしょうか。はい。ちょっと言い忘れてたところがあるのですいません。
1:36:41	その中に、ちょっとご検討いただきたい事項としてもう一つあって、この適合性確認検査というのがありますけれども、この適合性検査というのはこの形をとらないでなくてもいいんじゃないか。
1:36:57	ということの検討をお願いしたいということです。ていうのはここで確認されていることは何かのケースで確認したことを、
1:37:06	記録で確認スルーということになるので、そこで重ねて確認をする必要もないという話。それからその点でここで確認しなければいけないことが残るのであれば、
1:37:19	逆に1号の構造共同、或いは2号の機器の性能のところに、検索を目途入れてして入れていただくと。
1:37:29	というようなことを整理検討いただきたいということでございます。以上です。すいません。京都大学の伊佐です。ご指摘どうもありがとうございます。適用性確認検査ですねこれ以前
1:37:42	中央管理室の設工認を出した時にですね確かこういう項目を立ててやったものですからそれぞれちょっと真似た形でこういう形になっておりますが。
1:37:53	ちょっと検討させてください。ありがとうございます。はい。よろしくお願いします。
1:38:00	規制庁カトウです。他よろしいでしょうか。
1:38:07	よろしければこれで本日のヒアリング終了とさせていただきますと思います。長いお時間ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。